

列島

あらかると

伝統の越前焼楽しむ

越前町



越前小曾原の「越前陶芸村」は、代中期以降、次第に衰退していった越前焼の産地である地域の発展を目指し、優れた技術と行動力のある若い陶芸家の受け皿として計画された。入村した作家らは今でも周辺に工房やギャラリーを構え創作活動に励んでいる。

その広大な敷地には都市公園100選に選ばれた越前陶芸公園があり、越

前焼を見たり使ったり作ったりできる「県陶芸館」、作家らの作品展示や演奏会、講演会などイベントが開かれる「文化交流会館」、種類豊富な越前焼が買える「越前焼の館」、食事場所などがある。陶芸館横には、国登録有形文化財「水野コレクション」を展示し、平安時代から近現代までの越前焼を紹介する「越前古窯博物館」が建つ。越前焼研究第一人者水野九右衛門氏が居住した古民家「旧水野家住宅」

写真もある。

県陶芸館では26日まで、石川県の五つの焼き物を紹介する「お隣さんやきもの見聞」を開催。今年は「越前陶芸まつり」が中止のため、販売する場を失った窯元作品を展示販売する「窯元応援プロジェクト」を9月まで月替わりで開く。間接照明の「陶あかり」作り体験は8月30日まで。釣り鐘形に整えられた粘土に道具や型抜きで好きな形の穴を開ける。イルミネーションでも8月30日まで、さまざまな形の手作り越前焼「陶ふりん」1000個を展示。絵付け体験や販売のほか、冷たい和スイーツも味わえる。(同館)

0778(32)2174

この日
何の日

木 9日

ジェットコースターの日

金 10日

納豆の日

土 11日

真珠記念日

日 12日

人間ドックの日

月 13日

オカルトの日

火 14日

ゼリーの日

水 15日

ファミコンの日

県内情報



☆道の駅と 奇岩怪石の蘇洞門めぐり (日帰り)



蘇洞門の奇岩=提供写真

魅力ある若狭堪能

魅力ある若狭の特産、観光、歴史を堪能する旅。おおい町、小浜市、若狭町の3市町を回る。まず訪れる道の駅うみんびあ大飯は、おおい町の地場野菜や若狭湾の海産物、加工品が楽しめる。昼食は日本海が一望できる小浜市のレストランで「よっぱらいサバ」を扱った料理。酒かす入りのエサで養殖されたサバは臭味がなくさわやかなうま味と評判。

奇岩怪石の蘇洞門めぐりは周遊約1時間の船の旅。波の浸食でできた自然の奇観が見どころ。熊川宿は若狭と京都を結ぶ重要な宿

場。当時を伝える建造物が並ぶ。

【7月26日、8月19日、9月26日出発】福井駅東口発9・05—道の駅うみんびあ大飯—(休憩・観光)—海幸苑(昼食)—蘇洞門めぐり(遊覧船乗船)—熊川宿(自由散策)—福井駅東口着17・30ごろ。

【代金】大人1人9000円。昼食付き。

☆糖度18%? 甘い 「はちみつブドウ狩り」 (日帰り)

【8月29日、9月9・20日出発】福井駅東口発9・50—御誕生寺(参拝)—越前そばの里(昼食)—観光農園(ブドウ狩り)—福井駅東口着15・40ごろ。

【代金】大人1人5800円。昼食付き【ポイント】御誕生寺は曹洞宗の禅寺。「猫寺」として全国的に知られ、癒やしを求める人たちでぎわう。観光農園のブドウ狩りは30分食べ放題。品種は大粒のブラックオリンピア。糖度18%以上で香りが良い。濃厚な味わいから「はちみつブドウ」と呼ばれる。昼食はそばを味わう。



岐阜城の旧称「稲葉山城」の御朱印(岐阜観光索道提供)

中部

堀川万灯祭2020」が始まった。8月31日まで。点灯は午後7時~午前2時。

岐阜城がある金華山の麓で、城の旧称「稲葉山城」の名の御朱印(御城印)が販売されている。城は戦国武将斋藤道三が造り、織田信長が居城したことでも知られる。NHK大河ドラマ「麒麟(きりん)がくる」で道三時代の旧称が有名になり制作された。「道三ゆかりの地に来た記念にぴたり」と担当者。500枚限定で1枚300円。

岐阜城がある金華山の麓で、城の旧称「稲葉山城」の名の御朱印(御城印)が販売されている。城は戦国武将斋藤道三が造り、織田信長が居城したことでも知られる。NHK大河ドラマ「麒麟(きりん)がくる」で道三時代の旧称が有名になり制作された。「道三ゆかりの地に来た記念にぴたり」と担当者。500枚限定で1枚300円。

岐阜城

岐阜城